

2. ホテル

2023年は中国各地で国内旅行意欲の高まりにより観光客が大幅に増加。業界では国内旅行者に大きく依存していることもあり、現時点では2020年の新型コロナウイルス感染症の流行による影響は比較的少ない。国内のホテル稼働率は、新型コロナウイルス流行前の2019年と同じ水準まで回復。各地では観光客を受け入れるためのホテルの建設や商業施設のオープンなども見られ、競争の中で新たに質の向上が求められるようになっている。

中国のホテル業界

業界動向：2024年新ホテルの開業が引き続き増加すると予想

表1は星級ホテル数と客室数の推移である。2023年第1四半期までは新型コロナの影響によりホテル数は減少の一途をたどるも、2023年第2四半期からはコロナ禍の収束とともにその回復の道筋は大きな転機を迎えた。データには反映されていないが、2023年第4四半期では、中国の計画と建設中のホテルプロジェクト数は2四半期連続で過去最高を更新。前年同期比で事業数は6%増、部屋数は2%増となり、初期計画段階にあるプロジェクトは記録的な数に達し、中国のホテル建設分野の活力と拡張を反映している。

表1：星級ホテル数と客室数の推移

	2019	2020	2021	2022	2023 Q1	2023 Q2	22vs 23Q2	
五星級	ホテル数(軒)	822	820	799	783	755	755	△28
	客室数(万室)	26.0	26.4	26.4	26.4	N.A	N.A	N.A
四星級	ホテル数(軒)	2,443	2,399	2,324	2,285	2,029	2,178	△107
	客室数(万室)	44.3	43.8	43.3	44.1	N.A	N.A	N.A
三星級	ホテル数(軒)	4,350	4,074	3,686	3,487	2,937	3,114	△373
	客室数(万室)	42.4	39.5	37.1	36.0	N.A	N.A	N.A
二星級	ホテル数(軒)	1,268	1,100	853	768	594	608	△160
	客室数(万室)	7.5	6.2	5.1	4.8	N.A	N.A	N.A
一星級	ホテル数(軒)	37	30	14	14	9	8	△6
	客室数(万室)	0.1	0.2	0.1	0.1	N.A	N.A	N.A
合計	ホテル数(軒)	8,920	8,423	7,676	7,337	6,324	6,663	△674
	客室数(万室)	120.4	116.1	112.1	111.4	N.A	N.A	N.A

出所：文化和旅游部統計

注：2019年～2022年は年間統計、2023年は四半期統計より数値を抽出

市場分析：ホテル稼働率、単価の上昇

表2は文化旅游局による星級別平均単価と平均稼働率の

推移である。中国各地では2023年より国内旅行熱の高さから国内観光客が増加。国内のホテル稼働率は新型コロナウイルスの流行前の2019年とほぼ同じ水準まで回復。そのような中、2023年7月のCPI（消費者物価指数）は前年同月比で0.3%低下し景気回復が減速する一方で、「旅行」のCPI項目は大きく上昇。国内旅行需要の後押しを受けてホテルの宿泊料金は上昇し、観光客を対象とするホテルは価格を柔軟に変動させる仕組みを導入して売り上げの最大化を実現。近年では中国国内各地からの旅行者だけではなく、海外各国からの観光客も回復。各地では観光客を受け入れるためのホテルの建設や商業施設のオープンなども始まっている。

表2：星級別平均客室単価と平均稼働率の推移

	2019	2020	2021	2022	2023 Q1	2023 Q2	
五星級	平均客室単価(元)	596.6	518.8	551.0	509.3	575.7	617.8
	平均稼働率(%)	60.9	40.4	44.7	38.8	51.7	60.2
四星級	平均客室単価(元)	331.6	300.2	310.3	298.5	314.5	328.3
	平均稼働率(%)	55.1	39.1	41.9	38.5	41.8	52.2
三星級	平均客室単価(元)	225.7	206.2	212.9	216.9	215.9	228.7
	平均稼働率(%)	52.2	38.0	39.9	38.0	39.0	47.7
二星級	平均客室単価(元)	179.4	161.9	172.3	181.7	168.7	177.7
	平均稼働率(%)	52.0	38.6	39.0	36.0	38.4	44.4
一星級	平均客室単価(元)	112.0	117.3	88.2	91.9	80.0	98.0
	平均稼働率(%)	51.4	35.7	38.1	37.6	44.8	43.8

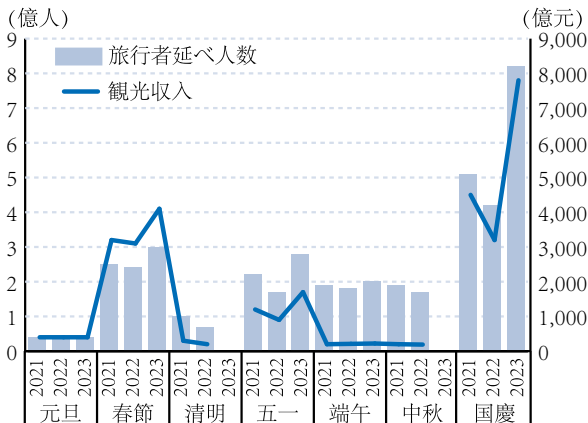
出所：文化和旅游部統計

注：2019年～2022年は年間統計、2023年は四半期統計より数値を抽出

国内観光は2023年に急回復の新たなチャネルに入る

連休期間中の観光客数と観光収入は期待通りの成長を遂げた。2023年の主要連休期間中の観光客数と観光収入は、2022年に比べてある程度増加し(図1)、年間を通じて高水準かつ着実な成長傾向を示した。特に「中秋節+国慶節」の8連休期間中は、国内観光客数と国内観光収入が2019年の水準まで回復し微増している。2019年の「中秋節+国慶節」の8日間の旅行数は前年比4.1%増加し、2019年の観光収入は前年比1.5%増となった。

図1：主要連休における国内旅行の旅行者延べ人数と観光収入回復状況

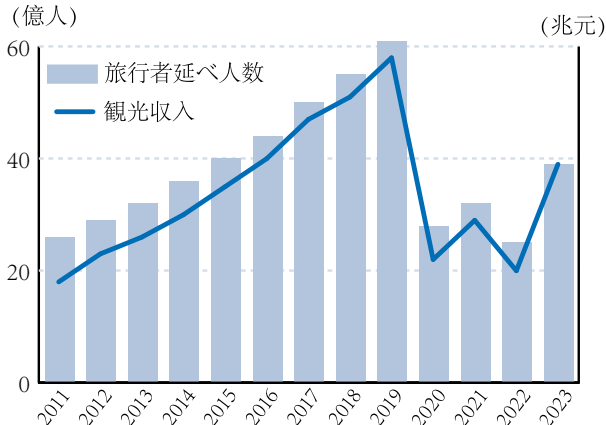


出所：文化和旅游部統計

注：2023年の国慶節は、中秋節と国慶節のデータ。

図2は文化旅游部による2011年以降の国内旅行者延べ人数と観光収入の実績（2023年は予測値）である。2023年の国内観光客数は前年比約90%増の49億人近くになり、国内観光収入は約4兆9,000億元で、前年比140%増となると推定された。新型コロナ禍前の2019年比ではそれぞれ観光客数が81%、観光収入が86%まで回復した(図3)。

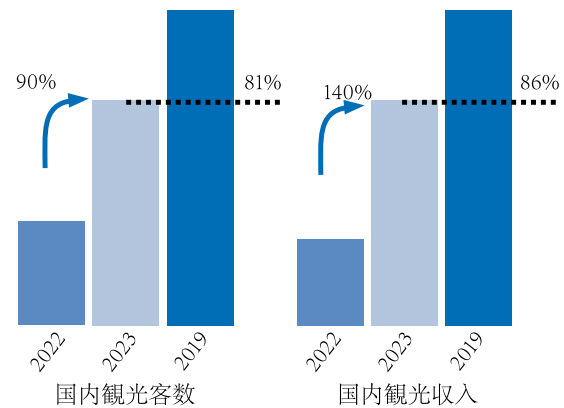
図2：国内旅行者延べ人数と観光収入の推移 (単位：億人、兆元)



出所：文化和旅游部統計

注：2023年は予測値

図3：2023年の国内観光客数比率と観光収入回復率



注：2023年は予測値

表3は文化旅游局による星級ホテルの経営指標推移である。ホテルの単価、稼働率、RevPAR（販売可能客室あたりの客室収入）は回復を続けている。コロナ禍ではおおむね20～40%台まで落ち込んだ稼働率は、防疫対策の強化による行動制限の影響が大きかったが、2023年第2四半期の稼働率は52.4%と、感染拡大前の水準に向けて順調に回復経路をたどる。ただし、国内客の戻りに勢いがある一方で、ホテルの不安材料となっているのが、人手不足だ。コロナ禍では稼働率の急激な低下で、雇用調整を迫られたホテルは多い。経済活動が再開しても人手をなかなか確保できず、人手不足が営業に影響を与えているホテルも散見される。増え続ける国内観光需要に向け、従業員の積極的な採用、定着率の向上などが求められる。

表3：星級ホテルの経営指標推移

	2019	2020	2021	2022	2023 Q1	2023 Q2
平均客室単価(元)ADR	353.0	313.9	335.0	318.4	358.0	373.7
平均稼働率(%)OCC	55.2	39.0	41.8	38.3	43.2	52.4
1日1販売可能客室当り客室収入(元)RevPAR	194.8	122.4	139.9	122.1	154.9	195.9

出所：文化和旅游部統計

注：2019～2022年は年間統計、2023年は四半期統計より数値を抽出

2024年の展望と課題

2023年初頭にかけてのパンデミックの蔓延後、ホテル業界はようやく回復の夜明けを迎え、中国人の旅行需要意欲は上昇し、家族旅行や中高所得者の個人旅行者が活発化してきた。2023年の3つの長期休暇の間、ホテルでは長い間失われた満室が多数あり、観光需要の回復とともに、商用目的の出張者需要も増加傾向にある。一方で、宿泊者による節約志向の高まりから、ホテル館内での消費額の減少が現れている。これも不動産市況の低迷など、経済の先行きが不透明であることが背景にあると思われる。

中国では1990年代から2000年代にかけて、オリンピックをはじめ団体旅行の需要が高まった時期に建設された

ホテル施設が多く存在。現在、これらの施設は築20～30年経過しており、改修や改装の必要性が増している状況がうかがえる。利用客は衛生面で快適を求め、安全性を重要視する声も高まっている。そのため、古びた施設は衛生面で満足度を低下させる原因となり、老朽化による安全性の問題は、事故や災害のリスクにつながるため、ホテル経営には、投資回収期間、コスト対効果、市場状況などを考慮し、資金調達と施設更新を行う必要が迫られている。

また、コロナ禍で露呈した、ホテル業界の弱点は、景気や社会情勢に左右されやすいことである。ホテル業界はビジネスや観光と言った人々の動きと密接にかかわっているため、景気や社会情勢の影響によってその動きが抑えられてしまうと経営が途端に厳しくなりその影響が顕著に出やすい。コロナ禍を教訓に、このリスクとどう向き合うかが業界としての最大の課題である。コロナ禍による打撃から回復はしたが、人手不足や質の向上への対応が求められ、それを解決するには、サービスの変革とDX推進などの施策が求められる。

<建議>

① 人的交流回復に向けた各種渡航制限の緩和

両国の経済活動を活性化させる動きがあるなか、日本人に対するビザなし渡航の再開、団体旅行の解禁など、入境制限の緩和・撤廃を要望する。

② MICE推進に向けた支援プログラムのサポート

MICE需要の創出はホテル需要を促進する直接的な効果が見込まれる。また、MICEは性質上、企業・産業活動や研究・学会活動等と関連しており、人の集積や交流から生み出される付加価値や経済的波及効果も期待できる。政府主導によるMICE機会の創出、および事業法人等へのMICE需要喚起のための施策を要望する。